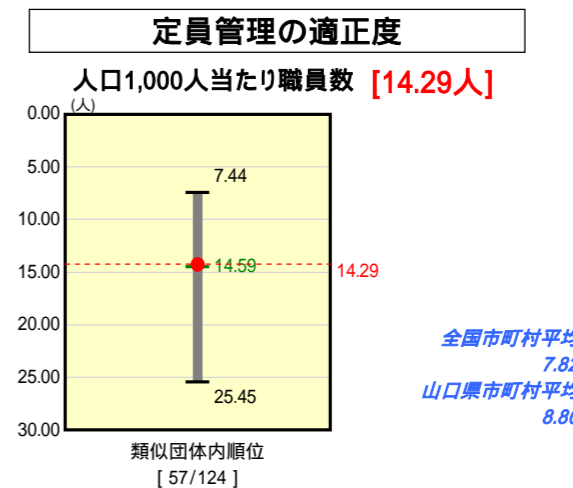
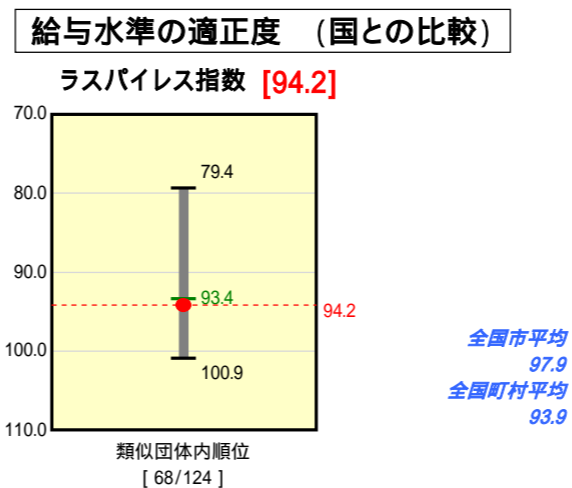
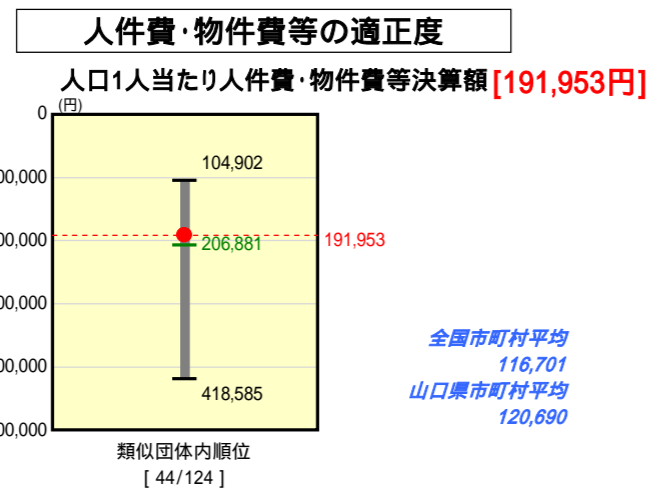
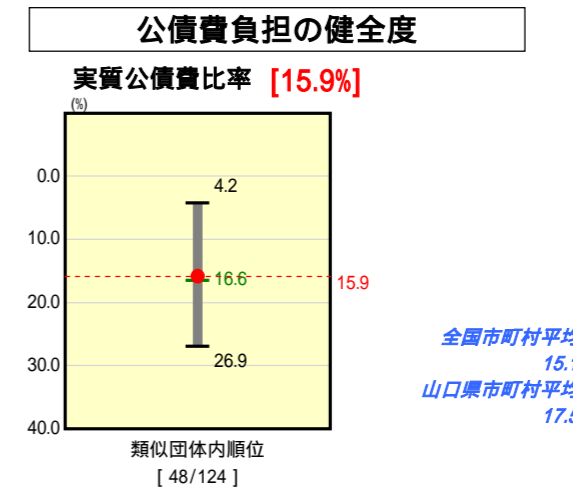
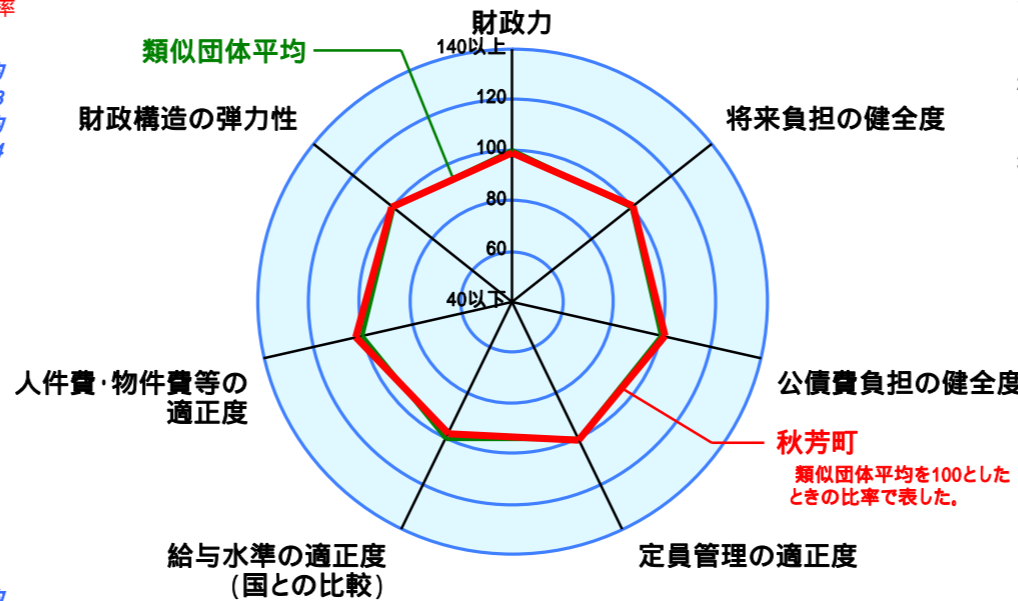
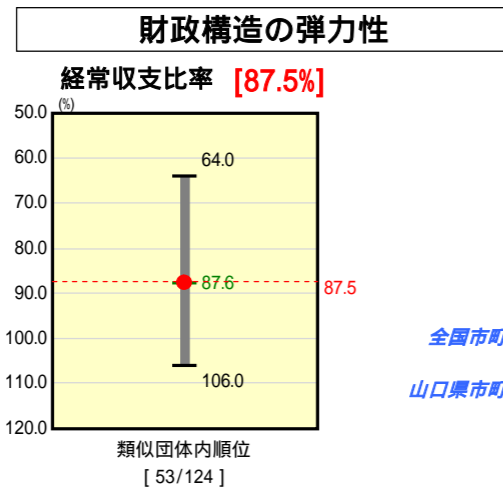
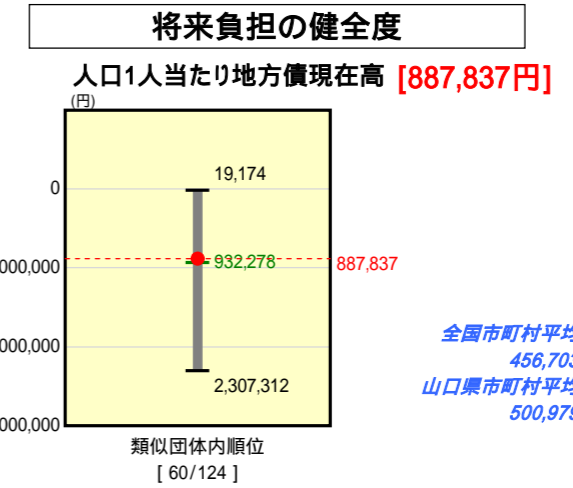
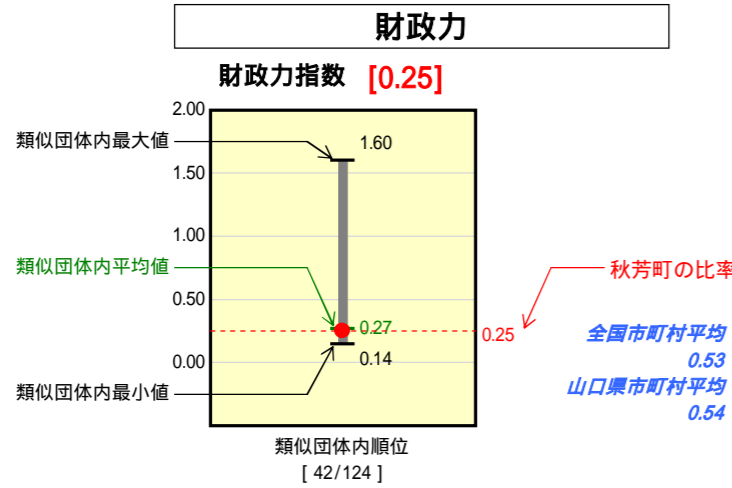


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

山口県 秋芳町

人口	6,088	人(H19.3.31現在)
面積	114.97	km ²
歳入総額	4,017,014	千円
歳出総額	3,883,197	千円
実質収支	133,817	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:

人口の減少や高齢化が年々進み(平成18年度末高齢化率(35%)、加えて本町の基幹産業の観光事業の長引く景気の低迷等により、個人・法人関係の減収などから0.02%類似団体を下回っているため、総人件費の削減(退職者不補充による職員数の削減等)や歳出の見直しをするとともに、税収の徴収強化(5年間で3%の向上)等、歳入の確保に努める。

経常収支比率:

歳入面の経常一般財源において普通交付税200万円、臨時財政対策債及び減税補てん償240万円の減となるが、歳出面の経常経費充当一般財源において歳出全般による見直しを行い、特に人件費については、退職者(6名)の不補充、各種手当の削減(期末勤奨手当の25%削減)するなど健全化に努め、類似団体平均を0.1%下回った、今後もさらに健全化を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:

人件費・物件費等の1人当たり金額が類似団体平均を下回っているが、これは財政健全化による歳出全般の見直し、特に人件費等の削減(退職者の不補充、各種手当の削減)によるものである。

ラスパイレース指数:

新規採用職員に対し昇級調整を実施しているため、類似団体平均より0.8%上回っているものの、平成10年度から各種手当の見直しをしている。特に平成18年度は期末勤奨手当を25%削減しており、今後は地域給与を含め給与水準の適正化に努める。

1人当たり地方債現在高:

過疎化が進む中で、人口定住対策として公営住宅建設建設事業、老朽化に伴う施設整備(保育所、小・中学校の改築事業)、道路改良事業等の大型事業により発行額が増加しているが、類似団体を下回っている。今後は新規発行の抑制に努め、財政の健全化を図る。

実質公債費比率:

交付税措置のある起債の借入を行ったことで、過去から類似団体平均を下回っており、今後も現在の水準を維持する。

人口1,000人当たり職員数:

本町の基盤産業の観光事業拡充のため昭和40~48年度にかけ職員を大量採用したが、今後は団塊の世代の退職者も増え、希望退職も推進したことにより類似団体を下回っている。今後も、退職補充を必要最小限度とし、適切な定員管理に努める。